

財 政 援 助 団 体 等 監 査 結 果 報 告
〔一般社団法人 神戸市老人クラブ連合会 〕

神戸市監査委員	谷	口	時	寛
同	吉	田	基	毅
同	岩	田	嘉	晃
同	橋	本		健

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき実施した平成 28 年度財政援助団体等監査について、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監査の対象

一般社団法人神戸市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）における神戸市（以下「本市」という。）からの財政援助に係る出納その他の事務で、主として平成 27 年度執行の事務

2 監査の期間

平成 28 年 8 月 29 日～平成 28 年 12 月 22 日

3 監査の方法

監査は、財政援助に係る出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

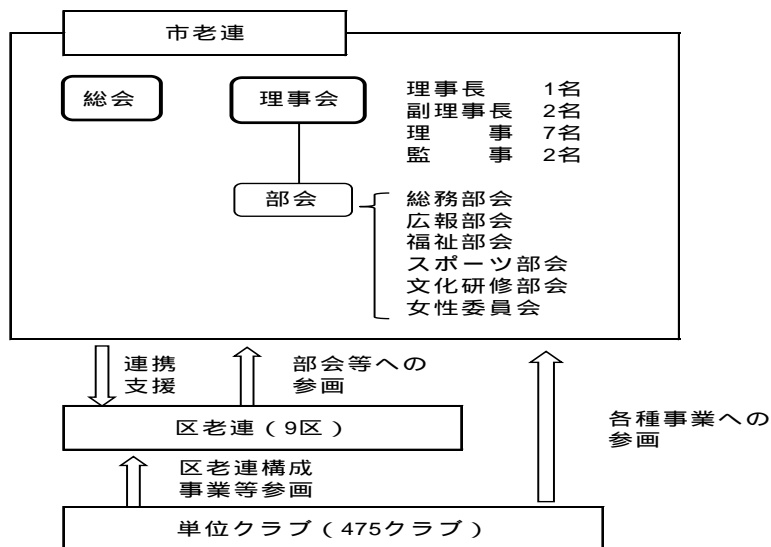
4 団体の概要

(1) 設立の趣旨

市老連は、おおむね 60 歳以上の方を対象とした地域を基盤とする老人クラブを基礎組織として、神戸市内 9 区に「区老人クラブ連合会」（以下「区老連」という。）を組織し、それらを統括する組織として昭和 33 年 8 月に任意団体として組織され、同 45 年 9 月に「社団法人神戸市老人クラ

ブ連合会」として法人認可を受けた。その後、平成 24 年 4 月に一般社団法人へと移行している。
 なお、平成 28 年 4 月現在の単位老人クラブ数は 475 クラブ、会員数は 35,841 人である。

(参 考) 組織概要



(2) 本市との関係

財政援助

ア 補助金

平成 27 年度は、神戸市老人クラブ連合会補助金として 2,152 万円、高齢者相互支援友愛活動補助金として 1,665 万円（当初交付決定額 1,639 万円から 1,679 万円へ変更後、補助金返還金 14 万円を控除した額）、神戸市老人クラブモデル活動事業補助金として 383 万円を交付している。

(事業名)	(金額)	(根拠規程)
神戸市老人クラブ連合会補助金 (主な事業) ・神戸市老人クラブ連合会運営 ・老人クラブ健康づくり ・区老人クラブ連合会事業推進	2,152万円	神戸市老人クラブ連合会補助金交付要綱 神戸市高齢者健康増進・健康づくり事業実施要領 (神戸市老連健康増進事業等助成要綱) (神戸市老連運営助成要綱)
高齢者相互支援友愛活動事業補助金	1,665万円	神戸市老人クラブ連合会補助金交付要綱 神戸市高齢者相互支援友愛活動事業実施要綱 (高齢者相互支援友愛活動事業実施要領)
神戸市老人クラブモデル活動事業補助金	383万円	神戸市老人クラブモデル活動事業実施要綱

() 書きは市老連が区老連への助成に関して定めた要綱

(3) 事業の概要

市老連事務局の所在地は、中央区橘通 3 丁目 4 番 1 号(神戸市立総合福祉センター内)である。
市老連の事業の概要は以下のとおりである。

会員増強対策事業

神戸市老人クラブ「五千人会員増強運動」要領及び会員増強対策 6 つの目標に基づき会員増強対策事業を推進した。

健康増進事業(健康づくり)

ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、ウォークラリー、体力測定、栄養講習、リズム体操や健康づくり研修会などを実施した。

友愛・奉仕活動事業

高齢者相互支援友愛活動事業実施要領及びシルバーフレンド訪問事業実施要領に基づき、会員相互支援のためのボランティア活動を区単位で実施する友愛・奉仕活動事業を推進した。

文化研修事業

高齢者美術作品展、演芸の集い、会長・リーダー研修会、新任会長研修会などを実施した。

福祉事業

社会奉仕活動事業、福祉研修事業等を実施した。

広報事業(会員への情報提供)

月刊「神戸老連」の発行や、ホームページによる広報事業を実施した。

単位クラブ等支援事業

モデル活動事業及び区労連の運営やスポーツ活動への助成を実施した。

地域を支える支援活動

地域見守り活動を含む次世代育成支援事業などに取り組んだ。

老人クラブ加入への促進

老人クラブの解散などによる会員の減少を防止するとともに、地域の高齢者に対する老人クラブの活動紹介や加入の勧誘を行うとともに、魅力あるクラブづくりに努めた。

市老連の主な業務量の比較は第 1 表のとおりである。

第 1 表 業 務 量 の 比 較

項 目		平成27年度	平成26年度	対前年度 増減	対前年度 増減率
健 康 増 進 事 業					
各種スポーツ大会					
春季ゲートボール大会	参加者数	276人	304人	28人	9.2
秋季ゲートボール大会	参加者数	267人	284人	17人	6.0
春季グラウンドゴルフ大会	参加者数	222人	225人	3人	1.3
秋季グラウンドゴルフ大会	参加者数	264人	257人	7人	2.7
長寿祭ウォークラリー大会	参加者数	532人	427人	105人	24.6
輪投げ大会	参加者数	576人	559人	17人	3.0
神戸交流ウォーキング大会	参加者数	555人	754人	199人	26.4
友 愛 ・ 奉 仕 活 動 事 業					
会員相互支援事業					
友愛・奉仕事業推進チーム会議	開催回数	6回	6回	-	-
友愛・奉仕事業推進ボランティア	登録者数	1,232人	1,271人	39人	3.1
高齢者相互支援友愛活動事業	派遣件数	400件	408件	8件	2.0
文 化 研 修 事 業					
会長・リーダー研修会	参加者数	769人	730人	39人	5.3
新任会長研修会	参加者数	70人	70人	-	-
高齢者美術作品展（長寿祭）の開催	来場者数	816人	764人	52人	6.8
福 祉 事 業					
社会奉仕活動（「社会奉仕の日」一斉奉仕活動）	参加者数	8,954人	8,878人	76人	0.9
福祉交流事業	参加者数	94人	90人	4人	4.4
福祉研修会	参加者数	780人	742人	38人	5.1
広 報 事 業					
「神戸老連」の発行	発行部数	564,000部	574,800部	10,800部	1.9
単 位 ク ラ ブ 等 支 援 事 業					
モデル活動事業に対する助成	実施件数	25件	25件	-	-

(4) 収支状況

市老連の収支状況は第2表のとおりである。

第 2 表 比 較 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(単位 金額：千円)

科 目	平成27年度		平成26年度		対前年度 増減	対前年度 増減率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
一 般 正 味 財 産 増 減 の 部						
【 経 常 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 収 益 (a)	55,464	100.0	64,412	100.0	8,948	13.9
特 定 資 産 運 用 益	3	0.0	3	0.0	0	3.3
受 取 会 費	6,580	11.9	6,534	10.1	45	0.7
事 業 収 益	6,149	11.1	13,955	21.7	7,805	55.9
参 加 費 事 業 収 益	2,582	4.7	7,842	12.2	5,260	67.1
広 告 料 収 益	3,567	6.4	6,112	9.5	2,545	41.6
受 取 補 助 金 等	42,260	76.2	43,127	67.0	867	2.0
(うち神戸市補助金)	42,010	75.7	43,077	66.9	1,067	2.5
受 取 寄 附 金	160	0.3	160	0.2	-	0.0
雑 収 益	311	0.6	632	1.0	321	50.7
(2) 経 常 費 用 (b)	56,276	100.0	62,384	100.0	6,108	9.8
事 業 費	37,727	67.0	44,044	70.6	6,318	14.3
管 理 費	18,549	33.0	18,340	29.4	209	1.1
当 期 経 常 増 減 額 (A = a - b)	812	-	2,027	-	2,839	140.0
【 経 常 外 増 減 の 部 】						
(1) 経 常 外 費 用 (c)	-	-	3	-	3	皆減
固 定 資 産 売 却 ・ 処 分 損	-	-	3	-	3	皆減
当 期 経 常 外 増 減 額 (B)	-	-	3	-	3	皆増
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (C = A + B)	812	-	2,024	-	2,836	140.1
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (D)	36,563	-	34,539	-	2,024	5.9
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 (E = C + D)	35,751	-	36,563	-	812	2.2
正 味 財 産 期 末 残 高	35,751	-	36,563	-	812	2.2

5 監査の結果

本市からの補助金に係る出納その他の事務について監査した結果、事業は補助金の交付目的を達成し、事務処理もおおむね適正に行われているものと認められたが、事務の一部について改善を要する事例が見受けられたので、今後適正な事務処理に努められたい。

市老連では地域の高齢者に対する老人クラブの活動紹介や加入の勧誘を行うとともに、「五千人会員増強運動」を活動の主な目標としているが、クラブ数、会員数ともに減少が続いている。

今後も、健康づくり事業をはじめ、社会奉仕活動や地域支援活動など積極的に地域と関わり合いを持つ事業を推進し、高齢者の誰もが参加したくなるような魅力あるクラブ活動を進められたい。

(1) 指摘事項

適正な報告書類を提出すべきもの

市老連は、区老連等が行う事業について本市の補助金を財源として事業費を助成しているが、その実績報告（事業実施報告書、事業収支計算書）の提出について以下の事例があった。

要綱等に基づき正しく処理すべきである。

ア 本市への実績報告に必要な書類を添付すべきもの

老人クラブ健康づくり事業及び神戸市老人クラブモデル活動事業については、実施要領に基づき、本市への実績報告に区老連及び指定老人クラブからの実績報告書等を添付することとなっているが、必要な書類が全て添付されていなかった事例

イ 市老連に対し実績報告を提出すべきもの

区老人クラブ連合会事業推進事業については、区老連は実績報告を市老連に提出することとなっているが、全ての区老連から実績報告が提出されていなかった事例

ウ 実績報告書の添付書類を正しく提出させるべきもの

老人クラブ健康づくり事業について、収支計算書の提出にあたっては助成金の取扱いに関する通知文により各区老連に対して全ての領収書の添付を求めているが、長田区老連及び西区老連において領収書の合計金額が収支計算書の支出の金額より不足している事例

	収支決算書	領収書合計	差額
長田区老連	990,649 円	988,852 円	1,797 円
西区老連	1,220,623 円	1,205,397 円	15,226 円

